

最先任 上級曹長

「相互信頼の礎」 第12化学防護隊 畠山 勤雄 准陸尉



「あづま」をご愛読の皆様こんにちは。令和4年3月から第12化学防護隊先任上級曹長に上番している畠山准尉です。出身は静岡県、74式戦車に乗りたかった」との夢と希望を胸に平成元年3月に入隊し、念願叶って第12戦車大隊に配属されました。

私が所属する第12化学防護隊は旅団唯一の化学科部隊であり、今年で創設10年を迎えるまだ若い部隊です。部隊は旅団隊区内のCBRN対処を主たる任務としており、これまで御岳山噴火に伴う

災害派遣における火山ガス検知、豚熱、鳥インフルエンザ発生時の防疫活動、大規模震災等においては給水や防疫等の民生支援を実施してきました。

このような部隊で、私自身が曹士隊員に指導していることは「常識で考える」ことです。常識と言っても、育った環境や時代によってさまざま

まだと思いますが、身分や年齢に関わらず共通して教えられてきた常識の一つに「あいさつ」があります。自衛官は職務上の指揮監督者や上位者に対して敬礼を行うことが「自衛隊の礼式に関する訓令」で定められていますが、昨今は敬礼が出来ない隊員が見られる悲しい現状があります。

今、できなくなるのはなぜでしょうか。あいさつはまず、相手の存在を把握することから始まり、その延長線上には人への興味を持つことに繋がります。部隊隊員間の相互信頼の礎となつて、精進な部隊の育成に繋がってゆくのではないのでしょうか。

予備自衛官 山梨地方協力本部 野口 一郎 予備3等陸尉



私は昭和57年7月、第1教育団（現東部方面混成団）に入隊しました。その後、第1特科連隊（駒門）を皮切りに第6地対艦ミサイル連隊（宇都宮）、国際活動教育隊（駒門）を経て最終部隊である第1特科隊（北富士）での勤務を最後に、平成30年7月定年退職し、同年10月、予備自衛官に採用されました。予備自衛官として、本

私に5年間の招集訓練に参加しています。年間5日間、慣れ親しんだ迷彩服に袖を通すことを楽しみにするとともに、最近では予備自衛官仲間顔なじみも増え現役隊員の指導の下、充実した招集訓練に参加しています。招集訓練参加中、特に

分を補うため一つ一つの訓練にまじめに取り組む姿勢を見て、自分自身も負けてはいられないと感じています。私は現在、山梨県富士河口湖町に所在する株式会社ファミリーオートという自動車販売店に勤務しています。ファミリーオートは「感謝の心で安心してクルマ生活を万全に支えます」とを合言葉に新車・中古車・車検整備・保険等に関する全てに対応できる会社であり、地元の方々にも信頼され、地域に密着した歴史ある会社です。会社での主な業務は、仕入れ車両の商品化です。仕入れた車両の外装を磨き、内装のクリーニングを実施し、お客様に対してより良い車両をご提供ができます。

「一期一会」 関東補給処航空部 小林 花帆莉 陸士長

今月のフェアレディは、関東補給処航空部で航空機整備手をしている小林花帆莉（かほり）陸士長です。小林士長は東京都の出身の20歳で、学生時代は陸道（たいどう・武道の一種）やバレーボールで汗を流していました。



姿をテレビで見ると憧れの気持ちを抱くと同時に、人を助ける仕事かと思ってしまう。Q2・現在の職務は？

作業長（陸曹）からの指示をいただきながら、航空機の整備をしています。主な作業内容は用途廃止航空機から再利用可能な部品を取り外して、その部品の点検や手入れをすることです。

Q3・休日の過ごし方は？
学生時代はスポーツに励んでいたのですが、部屋でゆったり映画鑑賞をしたり、ニンテンドースイッチで遊ぶのが好きなインドア派です。映画に関し

た今まで出会った、そしてこれから出会う人たちとの縁、日々を大切にしながら、陸曹を目指して頑張ります。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？
父が自衛官として現役で勤務しており、その仕事に対する姿勢に憧れを持ち、入隊しました。

Q2・化学科に配属される第1特殊武器防護隊に配属となり、化学陸曹として勤務しております。

Q4・休日の過ごし方は？
服や靴が好きなので買い物やウィンドウショッピングをしています。また、最近バイクを購入

Q5・自分のアピールポイントは何？
私のモットーは「率先きゅう行」であり、他の誰よりもいち早く行動し、円滑な隊務遂行に貢献できるように心がけています。

Q6・今後の目標は？
今後部隊を引っ張っていく後輩から慕われる陸曹になれるように、知識や技術を身に付け、心技体を充実させ日々精進していきます。

東方男児 「俺に続け、俺を見よ」 第1特殊武器防護隊 浅野 正成 3等陸曹



今月の東方男児は第1特殊武器防護隊の浅野3曹です。

浅野3曹は平成31年3月、武山駐屯地に教育入隊し、練馬駐屯地に所在

編集後記

信頼の維持と増進—この言葉の意味を噛みしめる日々が続いている。先日、方面隊は63周年記念行事と方面音楽まつりを挙行了。コロナ禍の影響もあって記念行事、音楽まつりともに4年ぶりの開催で「希薄化した部外との関係復元」が方面隊としての大きなテーマだった。久々のイベント開催ということもあって多くの苦勞もあったが、招待者や地域の住民の方々と言葉を交わす機会があり、多くの激励や感動の声を頂き、いかにわれわれが温かい目で見守られているかということを感じた。